

令和8年度 学校経営計画書

石川県立小松商業高等学校

校長 浅田 勝大

1 教育目標

- ① 「学力向上」、「健康増進」を図る。② 「誠実」にして、「明朗」で「進取」の気風を養う。
- ③ 「自主的」にして「社会性」豊かな情操を培う。④ 「専門的技術」の習得・錬磨に努める。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 高度な資格取得・部活動の奨励・挨拶マナーの励行を教育活動の三本柱とし、地域社会や産業界に貢献できる人材育成に努めている。
- ② 地元産業界や地域から商業の専門高校としての役割が期待されており、常に地域のニーズを取り入れた教育活動を展開する必要がある。
- ③ 授業改善を進め、学習意欲の向上を図るとともに、多様な生徒に対するきめ細かな学習指導を展開する必要がある。
- ④ 「部活動の奨励」や「1校1プラン運動」により体力・気力、協調性等の向上および自己肯定感の醸成を図っている。
- ⑤ 就職では、地元企業からの求人が多く、良好な関係に成果をあげている。
- ⑥ 進学では、専門性を生かした多様な受験方法を利用すると共に新規進学先の開拓を推進している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 明朗快活な人物の育成を目指し、挨拶の励行を実践する。
- ② 高度な資格取得を奨励するとともに、スペシャリストの育成・起業家精神の醸成を目指す。
- ③ 健康で健全な人物の育成を目指し、自信と誇りを持ち自己肯定感を高められるよう部活動の奨励を図る。
- ④ 基本的生活習慣の向上を目指す。
- ⑤ 教養・マナーを兼ね備えた社会人の育成を目指す。国際化・情報化社会に対応できる「生きる力」を育成する。
- ⑥ 生徒・教職員の健康保持や安全確保などについて危機管理体制を適宜に見直し、更なる充実を図る必要がある。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 専門高校の役割とその教育活動を理解し、保護者や地域社会に対し様々な機会を通じて情報発信し、信頼される学校づくりを推進する。
- ② 石川県教員育成指標に基づき、それぞれのステージに合わせた資質・能力の向上を図る。
- ③ 明るく元気な挨拶や部活動などに意欲的に取り組み、学校全体の活性化に努める。
- ④ 教職員すべてが働き方改革に対する意識を高め、業務改善に努める。
- ⑤ 教職員の危機管理意識を高め、生徒の安心・安全に配慮した学校づくりを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① [進路希望の実現] 進路ガイダンスや企業実習などのキャリア教育の充実を図る。進路希望に応じたきめ細やかな学習指導により、生徒の進路実現を達成する。
- ② [社会人基礎力と人間力の育成] 基本的生活習慣を基盤に、基礎学力と専門知識の習得を図り、社会人基礎力の育成を目指す。将来の社会人としての人間力を育成する。
- ③ [学びの質の向上] 主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を進め、生徒の思考力・判断力・表現力を育成するとともに、学習指導要領に基づいた評価方法についての研究を深める。また、GIGAスクール構想の取り組みを深め、ICTの利活用を促進する。
- ④ [開かれた学校作り] 商業高校として地域社会との連携を図り、地域の活性化に貢献する。学校の教育活動を、保護者をはじめ中学校や地域に積極的に情報発信し、開かれた学校作りを推進する。
- ⑤ [効果的・効率的な学校運営] 石川県教員育成指標のステージに応じた資質・能力を高めるとともに、校務の効率化・平準化を意識し、働き方改革を進める。
- ⑥ [防災意識の向上] 危機管理意識を高め、緊急時にも適切に行動できる学校組織を構築する。
- ⑦ [安心安全な学校] 様々な多様性を尊重し、生徒が安心できる学校環境を教職員、生徒とともに構築する。